

第6次泉南市総合計画 施策の概要

分野別政策	3	『くらし』を守る・快適にする										施策に関連するSDGs					主な取組	①防災体制の充実			
施策	11	防災																◇大災害発生時に迅速な地域復興につなげることができるよう、事前の計画づくりや庁内連携体制を構築します。 ◇避難所・備蓄拠点等の整備、庁内緊急出動体制の強化を図り、災害に備えます。 ◇府内外の市町村や企業、関係団体等との防災協定の締結を促進します。 ◇SNSの活用等、市民に対する防災情報の伝達手段の拡充を行います。			
目指す まちの姿	災害による被害を地域の支え合いや民間企業等との連携で最小化し、誰もが安全・安心に暮らし続けられるまち															②災害に強い地域づくり					
	発生が懸念される大規模地震や津波、豪雨等の自然災害による被害を防災・危機管理体制の充実や地域住民同士の支え合い・助け合い、企業等との連携により最小限におさえるなど、誰もが地域で安心して暮らすことができるまちづくりに取り組みます。															◇市民の防災意識を高めるため、各種講座や広報等による啓発、市民と行政との協働による防災訓練等の充実を図ります。 ◇自主防災組織のさらなる設立支援や、その活動を支援するとともに、地域における避難行動要支援者の個別避難計画作成を促進します。 ◇民間住宅の耐震化を促進するため、市民の周知啓発を図ります。					
施策に関する 成果指標	指標項目					基準値(R3)					目標値(R14)					備考					
	自主防災組織の組織率					62%					80%					組織地区の世帯按分					
	進捗状況																				
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	備考										
	目標	65	65	68	68	71	71	74	74	77	80										
	実績	63.3																			
	達成率	97.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%										
達成度	A																				
掲載事業一覧【所幹部】																所管部局評価					
3-11-① 防災備蓄事業【行政経営部】																【行政経営部】					
3-11-①、② 防災情報伝達推進事業【行政経営部】																取組①					
3-11-② 自主防災組織強化事業【行政経営部】																重要11品目の備蓄目標数維持のための更新を行った。これまでの災害でみられた避難所等での課題を考慮し、適切な備蓄品の管理に努め、災害に備え、防災・危機管理体制を充実させ、誰もが地域で安心して暮らすことができるまちづくりに努める。 防災用広報システムの補助的手段、多様化手段として、防災アプリを導入した。防災アプリの活用を推進し、市民に対する防災情報の伝達手段の拡充を行い、防災・危機管理体制を充実させ、誰もが地域で安心して暮らすことができるまちづくりに努める。					
3-11-② 安全・安心住まいづくり支援事業【都市整備部】																取組②					
																新たに自主防災組織が1団体設立された。また、避難行動要支援者の個別計画作成のために民生・児童委員との連携体制を構築した。継続して、自主防災組織の設立支援、個別計画作成促進し、地域住民同士の支えあい・助け合いで、誰もが地域で安心して暮らすことができるまちづくりに努める。					
																【都市整備部】					
																取組②					
																住宅耐震化の重要性を周知するためフォーラムを開催した。継続して耐震化の重要性の周知啓発をより一層推進していくことに努める。					

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする						事業区分				事務事業コード				施策に関する成果指標																									
○ 施策 11 防災						新規				担当課名		危機管理課				指標名 備蓄品目数										備考													
○ 主な取組 ① 防災体制の充実						継続		○		会計名		一般会計																											
事務事業名 防災備蓄事業						事業に関連するSDGs						ソフト		○		予算		款項目		2		1		9															
<事業概要> 大規模災害発生時に被災した市民の避難所生活をサポートするために必要となる食糧等について、大阪府地震被害想定に基づく備蓄を行う。 						ハード						細目		12-防災備蓄事業																									
						市単独		○						(関係法令・市条例・計画等)																									
						災害対策基本法、泉南市防災計画																																	
令和5年度 事務事業実績																																							
主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2 ・備蓄食糧の更新を行った。(4,200食分) ・備蓄高齢者食の更新を行った。(1,500食) ・備蓄飲料水数の更新を行った。(500mlペットボトル、1,512本) ・備蓄用粉ミルク、液体ミルクの更新を行った。 ・各種イベントにて、有効活用として、備蓄品の配布を行い啓発活動を行った。(4,200食分) ・伝市メール講座にて、家庭内での備蓄についての啓発活動を行った。(5回)																																							
事業の財源						決算額		1,572千円		国庫支出金		0千円																											
										府支出金		0千円																											
										市債		0千円																											
										その他		0千円																											
						決算書ページ		165ページ		一般財源		1,572千円																											
職員数/人件費						正職員		0.13人		正職員以外の その他職員		0.00人		1,011千円																									

令和7年度 実施計画
⇒令和7年第1回定例会予算説明資料として提出予定

令和5年度 事務事業評価									
事務事業の改善内容	＜成果・課題＞ 備蓄数の目標数量を維持するために更新期限を迎える備蓄品を購入した。令和6年能登半島地震を踏まえた、防災備蓄品目の見直しを行う必要がある。 災害時の孤立等を想定した、備蓄拠点の配置と備蓄品の分散について検討する必要がある。 大阪府により令和5年度実施された府民の防災意識に関するアンケート調査では、備蓄を行っている家庭の割合が4割程度であった。そのため、本市においても家庭内での備蓄を推進していく必要がある。 Check 3	令和6年度の改善の取組	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組					備考
		＜改善内容＞ 令和6年度に改定される令和6年能登半島地震を踏まえた大阪府の備蓄計画をもとに、備蓄品の見直しを行う。 分散備蓄を行うために、備蓄拠点、避難所ごとに備蓄品を配備することを検討する。 家庭内での備蓄を推進するため、啓発講座を実施し、さらなる周知を行う。	事業の方向性		事業の方向性と取組の内容				
			1 現状維持		見直した備蓄計画をもとに備蓄を行い、人口や地形的特性を配慮した備蓄場所の選定を行うことで、食糧等を遅滞なく被災した市民に届け、避難所生活をサポートする。 また、家庭内での備蓄についての啓発を継続していくことで、大規模災害発生時にサポートが必要になる市民を少なくする。				
				2 見直して継続					
			重点化						
			手段改善	○					
			効率化(コストダウン)						
			規模縮小						
			事業統合						
		3 休止・廃止							
4 完了									

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする			事業区分		事務事業コード			施策に関する成果指標																				
○ 施策 11 防災			新規		担当課名			危機管理課		指標名		防災アプリのダウンロード累計数												備考				
○ 主な取組 ① 防災体制の充実 ② 災害に強い地域づくり			継続		○		会計名		一般会計		目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	令和6年4月本格運用開始 令和5年区長等のダウンロード実績				
事務事業名 防災情報伝達推進事業		事業に関連するSDGs		ソフト		○		予算		款項目		2	1	9	目標	100	5,000	10,000	18,000	18,800	19,600	20,400	21,200		22,000	23,000	件	
				ハード						細目		13-防災情報伝達推進事業		実績	427													
				市単独						(関係法令・市条例・計画等)		達成率	427.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
												達成度	A															
																									災害対策基本法、泉南市防災計画			

令和5年度 事務事業実績											
主な事業内容 (年次計画)		防災情報伝達推進事業 ・防災用広報システムの補助的手段として防災アプリを導入した。 ・防災用広報システムを用いて、Jアラートの訓練放送(4回)、避難指示や特殊詐欺注意等の臨時放送(6回)を実施した。 ・上記、避難指示や特殊詐欺注意喚起等の防災用広報システムの放送を電話案内サービスにより配信した。(年間利用者数118人)									
(実績)											
事業の財源		決算額		国庫支出金		11,715千円					
				府支出金		0千円					
				市債		14,630千円					
				その他		0千円					
		決算書ページ		165ページ		一般財源		22,750千円			
職員数/人件費		正職員		0.80人		正職員以外の その他職員		0.00人		6,222千円	

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価										
事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 防災用広報システムの補助的手段として導入していた電話案内サービスは同時に接続できるのが3回線までで、災害時の情報伝達に課題があった。補助的手段を拡充するため、防災アプリを導入した。防災用広報システムによる放送だけでなく、電話案内サービス、防災アプリでも防災情報を入手できることを周知する必要がある。 また、防災用広報システムについては気候などの外的要因により、放送内容の音達範囲に影響が現れる。	令和6年度の改善の取組	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組					備考	
		＜改善内容＞ 市内のイベントで周知活動を行うほか、市の情報配信のプラットフォームとなっているホームページと防災アプリを連携し、利便性を向上させることで利用者の増加につなげる。 防災用広報システムの更新に係る基本・実施設計を行い音達範囲の適正化を図る。	事業の方向性		事業の方向性と取組の内容					
			1 現状維持		基本・実施設計に基づき、防災広報システムの子局の適正配置を行い、防災用広報システムでの防災情報伝達を強化する。また、防災用広報システムの補助的手段である防災アプリ、電話案内サービスの周知活動を実施することで、市民の防災情報入手手段の多様化を図る。					
			2 見直して継続							
			重点化	○						
			手段改善							
			効率化(コストダウン)							
			規模縮小							
			事業統合							
		3 休止・廃止								
4 完了										

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする			事業区分		事務事業コード			施策に関する成果指標																
○ 施策 11 防災			新規		担当課名			指標名 自主防災組織の組織率													備考			
○ 主な取組 ② 災害に強い地域づくり			継続		○	会計名		目 標 値													組織地区の世帯按分			
事務事業名 自主防災組織強化事業		事業に関連するSDGs		ソフト		○	予算	会計項目		単位														
<事業概要> 大規模災害が発生した場合、行政の能力には限界があるため、自主防災組織の活動は必要不可欠である。自分たちの地域は自分達で守るという「自助」「共助」の推進を図るため、新たな自主防災組織の結成及び既存組織の充実を図る。 		ハード		○	15-自主防災組織強化事業			目 標 値																
		市単独		○	(関係法令・市条例・計画等)																			
		災害対策基本法、泉南市防災計画																						
										R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14														
										65 65 68 68 71 71 74 74 77 80													%	
										63.3														
										97.4% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0%														
										A														

令和5年度 事務事業実績															
主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	・樽井防災コミュニティセンターの防災目的の利用回数(30回) ・自主防災組織連絡協議会の開催(4回) ・リーダー育成研修(1回) ・自主防災組織における防災訓練実施回数(10回) ・避難行動要支援者名簿提供団体数(12団体) ・自主防災組織の新規結成数(1団体) ・泉南市コミュニティ補助金の交付(1団体)														
事業の財源	決算額		7,310千円		国庫支出金	0千円									
					府支出金	0千円									
					市債	0千円									
					その他	7,010千円									
	決算書ページ	165ページ	一般財源	300千円											
	職員数/人件費	正職員	0.70人	正職員以外の その他職員	0.00人	5,444千円									

令和 7 年度 実施計画
⇒令和 7 年第 1 回定例会予算説明資料として提出予定

令和7年度 実施計画
⇒令和7年第1回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価										
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 樽井防災コミュニティセンターの防災目的の利用回数を増加させるため、市主催の防災会議等を同施設で開催し、防災目的の利用の周知を行った。防災目的の利用が全体の利用の10%程度となっている。 自主防災組織での訓練を促進するために、訓練に伴う事故に対する保険対象とした。訓練実施団体の固定化が進んでおり、促進方法の見直しを含めた検討が必要である。 新規設立の自主防災組織に対して、資機材購入の補助を行った。また、既存の自主防災組織にコミュニティ助成事業助成金を活用し、資機材の購入補助を行った。自主防災組織が未結成の地域に対して、設立支援を行う必要がある。	令和6年度の改善の取組	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組					備考	
		<改善内容> 各自主防災組織での会議でも樽井防災コミュニティセンターの利用を促し、防災目的の利用回数の増加につなげる。 伝市メール講座実施に合わせて、防災訓練の実施を提案するなどして、新たな団体での訓練実施につなげる。 自主防災組織未結成地区に対して、組織体制の構築案や規約案の説明を行うことで、設立支援を行う。	事業の方向性		事業の方向性と取組の内容					
			1 現状維持	○	継続して、樽井防災コミュニティセンターの適切な運営、自主防災組織活動の活性化支援に努め、自分たちの地域は自分達で守るという「自助」「共助」の推進を図る。					
			2 見直して継続							
			重点化							
			手段改善							
			効率化(コストダウン)							
			規模縮小							
			事業統合							
		3 休止・廃止								
4 完了										

第6次泉南市総合計画 施策の概要

分野別政策	3	『くらし』を守る・快適にする										施策に関連するSDGs										主 な 取 組	①防犯対策の充実	
施策	12	防犯・交通安全・消費者トラブル対策										    											◇地域の関係団体等との連携による子どもの見守り活動等のさらなる支援を行うとともに、防犯カメラ及び防犯灯の設置、適切な維持管理を行うための仕組づくりに取り組みます。 ◇市民一人ひとりの防犯意識の向上を図るとともに、地域の自主防犯活動を支援します。	
目指す まちの姿	犯罪と交通事故が少なく、子どもから高齢者まで安心して生活を送れるまち																							
	全国的に多様化・凶悪化する犯罪や消費者問題、交通事故等から、子どもから高齢者まで、一人ひとりの生命と暮らしを守り、被害に遭う人を最小限におさえることができる、市民、地域、行政の連携による安全・安心なまちづくりに取り組みます。																							
施策に関する 成果指標	指標項目										基準値(R3)					目標値(R14)					備考		◇地域の関係団体等との連携により、危険箇所の点検等、通学路の安全対策の強化を図ります。 ◇歩行者優先社会づくりに向けた啓発や、交通安全施設の整備等、歩行者の安全確保を図ります。	
	刑法犯罪種及び手口別発生市区町村別認知件数										314件					250件					大阪府犯罪統計			
	進捗状況																							
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	備考													
	目標	314	307	300	293	286	279	272	265	258	250													
	実績	344																						
	達成率	91.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%													
達成度	A																						③消費者トラブル対策の推進	
掲載事業一覧【所幹部】																							所管部局評価	
3-12-① 防犯事業【福祉保険部】																							【福祉保険部】 取組① 防犯カメラ設置を促進し、防犯の向上に取り組むとともに修繕等維持管理の取組に努める。防犯委員会と連携し、防犯活動支援に努める。	
3-12-② 交通安全施設等整備事業【都市整備部】																								
3-12-③ 消費生活センター運営事業【市民生活環境部】																								
																							【都市整備部】 取組② 交通事故の危険性が高いと考慮される箇所において、カーブミラー等、有効となる交通安全施設の整備を推進する。通学路については、教育委員会と連携し、グリーンベルトの設置等、児童の安全確保に取り組んでいく。	
																							【市民生活環境部】 取組③ 啓発グッズ及びチラシ配布等を実施することで、啓発を推進し、消費者トラブルの減少に努める。消費生活相談の実施により、消費者トラブルの解決につなげていく。	

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする				事業区分		事務事業コード		施策に関する成果指標																																			
○ 施策 12 防犯・交通安全・消費者トラブル対策				新規		担当課名		生活福祉課		指標名		刑法犯罪種及び手口別発生市区町村別認知件数												備考																			
○ 主な取組 ① 防犯対策の充実				継続		○		会計名		一般会計		R5		R6		R7		R8		R9		R10		R11		R12		R13		R14		単位		大阪府犯罪統計									
事務事業名		防犯事業		事業に関連するSDGs		ソフト		予算		款項目		3		1		4		目標		314		307		300		293		286		279		272				265		258		250		件	
<事業概要> 防犯委員事務局運営等防犯に関する事務及び防犯カメラの設置管理を行う。				ハード		○		細目		01-防犯事業		実績		344																													
				市単独		○		(関係法令・市条例・計画等)				達成率		91.3%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%											
												達成度		A																													

令和5年度 事務事業実績

主な事業内容 (年次計画)		Plan 1		(実績)		Do 2	
・防犯委員事務局運営 月1回定例会開催、必要費用等会計処理、行事等予定調整 ・安全なまちづくり推進委員会事務局運営 総会開催、安全大会実施、会計処理 ・防犯カメラを20台設置 設置委員会の開催、設置場所確認、NTT、関電等電柱所有者調査、設置可否判定調査、設置各地区区長説明、防犯カメラ映り込み同意依頼、設置電柱底地所有者同意依頼、カメラ購入入札、業者調整、業者を通じて工事許可、道路占用許可等申請、電柱共架契約、電気契約、面角等警察同行の上調整、電柱及び電気使用料支払い							
事業の財源		決算額		9,765千円		195ページ	
		国庫支出金		0千円		正職員以外の その他職員	
		府支出金		0千円		0.00人	
		市債		0千円			
		その他		7,480千円			
		決算書ページ		一般財源		2,285千円	
職員数/人件費		正職員		0.30人		2,333千円	

評価

方向性

令和7年度 実施計画

⇒令和7年第1回定例会予算説明資料として提出予定

令和5年度 事務事業評価									
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 防犯カメラ20台を設置した。 防犯カメラを設置することで、犯人の検挙等防犯につながっているが、一方で、電気代、電柱使用料等費用は増加することになる。市の防犯施策において目標台数を150台として、市としての設置計画を策定し、設置委員会での決定を経て進めていくこととした。 また、設置済みの防犯カメラの修繕等費用がかさんでいくことが懸念されている。150台の故障等把握も困難であり、今後は防犯カメラの更新も考えなければならず、管理に関しても課題がある。	令和6年度の改善の取組	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組					備考
		<改善内容> 防犯カメラの管理について、今後の方針を検討する必要がある。 修繕台数の推移や警察署からの映像提供依頼件数等について、ここ数年の実績把握に努める。	事業の方向性		事業の方向性と取組の内容				
			1 現状維持	○	引き続き防犯カメラを増設し、目標台数の150台設置に向け、取り組む。 事業の初期に設置した防犯カメラについては、耐用年数を経過していることから、老朽化対策として、適切な修繕を行うこととあわせ、更新に係る計画・方針を策定する。				
			2 見直して継続						
			重点化						
			手段改善						
			効率化(コストダウン)						
			規模縮小						
			事業統合						
			3 休止・廃止						
4 完了									

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする			事業区分		事務事業コード			施策に関する成果指標																			
○ 施策 12 防犯・交通安全・消費者トラブル対策			新規		担当課名			道路課			指標名		当該年度執行率(事業費ベース)											備考			
○ 主な取組 ② 交通安全対策の推進			継続		○	予算	会計名	一般会計						目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	
事務事業名 交通安全施設等整備事業			ソフト				款項目	7	2	2	目標	100	100		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	%	
<事業概要> カーブミラー等交通安全施設の整備を推進し、交通安全対策に寄与する。 			ハード		○		細目	04-交通安全施設等整備事業							実績	100											
			市単独			(関係法令・市条例・計画等)									達成率	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
			道路法、泉南市通学路交通安全プログラム										達成度		A												

令和5年度 事務事業実績																			
主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2			1 交通安全施設等整備工事 2件実施 ・カーブミラー設置 ・グリーンベルト設置 ・路面表示(新設・塗り直し)																
			2 交通安全施設等修繕 ・カーブミラー修繕(ミラー交換等) ・防護柵修繕																
事業の財源			決算額		9,105千円		国庫支出金	0千円		令和 7 年度 実施計画 ⇒令和 7 年第 1 回定例会予算説明資料として提出予定									
							府支出金	0千円											
							市債	0千円											
							その他	0千円											
			決算書ページ	260ページ	一般財源	9,105千円													
職員数/人件費			正職員	1.03人	正職員以外の その他職員	0.00人	8,010千円												

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価									
事務事業の改善内容	Check 3	<成果・課題> 例年において交通安全施設等整備工事を実施しているが、路面標示等の経年劣化が進んでおり、安全性に課題を有している状況にあるため、早急に施設を更新し、交通安全対策の促進を図る必要がある。	令和6年度の改善の取組	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組				備考
			<改善内容>	事業の方向性		事業の方向性と取組の内容			
			・通学路の安全性を確保するため、泉南市通学路交通安全プログラムを開催し、教育部局と連携しながら優先順位を整理し、グリーンベルトの更新や新たな交通安全施設の設置など、交通安全対策を講じる。 ・点検により特に劣化が進んでいる施設の更新を図る。	1 現状維持	○	路面標示等の施設の劣化が進んでおり、インフラを利用する市民の安全・安心を確保するため、さらなる整備コストの増加が見込まれる。			
				2 見直して継続					
				重点化					
				手段改善					
				効率化(コストダウン)					
				規模縮小					
				事業統合					
				3 休止・廃止					
4 完了									

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする			事業区分		事務事業コード			施策に関する成果指標															
○ 施策 12 防犯・交通安全・消費者トラブル対策			新規		担当課名			産業振興課															
○ 主な取組 ③ 消費者トラブル対策の推進			継続		○		会計名			一般会計													
事務事業名 消費生活センター運営事業			事業に関連するSDGs		ソフト		○		予算		款項目			6 1 3									
＜事業概要＞ 消費者トラブルに対して、専門の相談員による消費生活相談を実施するとともに、消費者被害を未然に防止するため、泉南市消費生活センターの機能及び運営体制の強化を図る。					ハード		○		細目			01-消費生活センター運営事業											
					市単独		(関係法令・市条例・計画等)																
												指標名 消費生活相談の解決率(助言、情報提供、紹介及び斡旋による解決)										備考	
												R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位											
												目標 90.5 91.0 91.5 92.0 92.5 93.0 93.5 94.0 94.5 95.0 %											
												実績 91.5											
												達成率 101.1% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0%										/	
												達成度 A										/	

令和5年度 事務事業実績									
主な事業内容 (年次計画)		1. 消費生活相談の実施(320件) 他機関へ紹介11件 助言(自主交渉)186件 その他情報提供33件 斡旋解決50件 斡旋不調9件 処理不能14件 処理不要14件 その他3件							
(実績)		2. 啓発グッズ及びチラシ制作 啓発グッズ2,651枚、チラシ配布2,520枚							
事業の財源		決算額		国庫支出金		0千円			
		1,545千円		府支出金		872千円			
				市債		0千円			
				その他		0千円			
		決算書ページ		254ページ		一般財源		673千円	
職員数/人件費		正職員		0.60人		会計年度職員 任期付職員		2.00人	
								11,170千円	

令和7年度 実施計画
⇒令和7年第1回定例会予算説明資料として提出予定

令和5年度 事務事業評価									
事務事業の改善内容		＜成果・課題＞ 消費者が抱える不安は、相談員へ相談することによって、一定軽減されると考えられるため、相談数に比例して成果は生じている。 電話による勧誘、テレビショッピング、インターネットやスマートフォンによる課金など日々さまざまなトラブルが発生していることから、解決へ導くため、消費生活センターの設置を継続させることが重要である。		令和6年度の改善の取組		Action 4		令和7年度以降の事業の方向性と取組	
Check 3				＜改善内容＞ 消費者講座の実施や、公共施設等におけるチラシの配架やグッズの配布により、啓発を強化する。 また、新型コロナウイルスの影響により中止していた消費者講座を消費者月間である5月に開催し、市民に対しての注意啓発を図る。		事業の方向性		事業の方向性と取組の内容	
						1 現状維持		○	
						2 見直して継続		引き続き、5月の消費者月間における講座の開催や、HPやSNS等での情報発信を行っていく。	
						重点化			
						手段改善			
						効率化(コストダウン)			
						規模縮小			
						事業統合			
						3 休止・廃止			
						4 完了			

第6次泉南市総合計画 施策の概要

分野別政策	3	『くらし』を守る・快適にする										施策に関連するSDGs										主な取組	①環境保全の推進		
施策	13	環境保全・脱炭素・エネルギー										    											◇ため池や河川の改修・保全や管理を適切に行います。 ◇市民やNPO団体等と協働し、里地里山の保全と活用を推進します。 ◇ごみの収集方法や収集コースの見直しを行い、ごみ収集を適切に行います。 ◇環境調査の実施や市民・企業と協力した公害の未然防止を図るとともに、水質保全のための取組を推進します。		
目指す まちの姿	ごみの排出が抑制され、河川や森林に配慮した環境にやさしいまち																						②脱炭素社会の実現		
	海・山・川等、本市の豊かな自然を守りながら、「2050 年のカーボンニュートラル」を視野に入れた地球温暖化対策やエネルギー対策、ごみの減量化等、環境負荷の少ない暮らし方を浸透させることで、地球にやさしいまちづくりに取り組みます。																						◇ごみの排出抑制に向け、市民が環境にやさしい消費行動に取り組めるよう、啓発を図ります。 ◇3R(廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化)の普及を図るとともに、資源ごみの分別の徹底を図ります。 ◇企業等と連携しながら、ごみ処理場の効率的な運転と適切な維持管理を行います。 ◇自動車から出る二酸化炭素排出量削減のため、公用車の電動自動車導入や市民に対する自転車活用を推進します。 ◇公共施設への再生可能エネルギーの導入や市民への啓発等、利用促進を図ります。		
施策に関する 成果指標	指標項目										基準値(R3)					目標値(R14)					備考				
	一人一日あたりのごみ排出量(家庭系ごみ)										464g					414g									
	進捗状況																								
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	備考														
	目標	458	450	443	437	430	428	423	420	417	414														
	実績	436																							
	達成率	105.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%														
達成度	A																								
掲載事業一覧【所幹部】																							所管部局評価		
3-13-① 公害防止事業【市民生活環境部】																							【市民生活環境部】 取組① 環境保全の推進については、市民や企業とともに推進していく必要があるため、各取組を周知し、泉南市地球温暖化対策実行計画等を踏まえながら、推進していく。 【総務部】 取組② 年次の更新計画により車検時期等に合わせて、順次電気自動車(ハイブリッド車含む)を導入していく。		
3-13-① ごみ収集事業【市民生活環境部】																									
3-13-① 林業振興事業【市民生活環境部】																									
3-13-② 車両管理事業【総務部】																									

第6次泉南市総合計画 実施計画

分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする				事業区分				施策に関する成果指標													
○ 施策 13 環境保全・脱炭素・エネルギー				新規		事務事業コード		指標名 BODの数値												備考	
○ 主な取組 ① 環境保全の推進				継続		○															
事務事業名 公害防止事業		事業に関連するSDGs		ソフト		○															
＜事業概要＞ 公害に係る苦情処理及び騒音・振動の規制と公害発生施設の監視及び指導を行う。また、市内を流れる河川の水質調査等の分析を定期的に行い、環境の異常をいち早く察知できるようにする。		 		ハード		○															
事務事業名 公害防止事業		事業に関連するSDGs		市単独																	
＜事業概要＞ 公害に係る苦情処理及び騒音・振動の規制と公害発生施設の監視及び指導を行う。また、市内を流れる河川の水質調査等の分析を定期的に行い、環境の異常をいち早く察知できるようにする。		 		市単独																	
令和5年度 事務事業実績																					
主な事業内容 (年次計画)		Plan 1																			
(実績)		Do 2																			
事業の財源		決算額		国庫支出金		0千円															
		1,747千円		府支出金		262千円															
				市債		0千円															
				その他		0千円															
職員数/人件費		決算書ページ		238ページ		一般財源		1,485千円													
		正職員		0.55人		会計年度職員 任期付職員		0.00人		4,277千円											

評価

方向性

令和7年度 実施計画

⇒令和7年第1回定例会予算説明資料として提出予定

令和5年度 事務事業評価												
事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 令和5年度は成果指標の河川の監視対象箇所BOD値の達成度Aになったが、年2回の測定結果によるものなので、通年で基準を達成しているかを確認できない。また測定地付近の河川で白濁した水が流入したと住民からの通報が1件あった。他の項目の公害測定結果は問題なかった。騒音・振動、野焼きの苦情はほぼ例年どおりの件数であった。	令和6年度の改善の取組	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組					備考			
		＜改善内容＞ 成果指標の河川のBODの数値維持について、定期的に河川への異常な流入がないかパトロールを行うとともに特定施設からの排水指導権限のある大阪府と連携を密にして監視を行う。また騒音・振動・野焼きの苦情に関しては、現地で原因者に指導する際、再発回数が減少するように指導を工夫していく。	事業の方向性		事業の方向性と取組の内容							
			1 現状維持		○		成果指標の河川のBOD値を維持するために市内に流れる河川の監視対象地点を継続的に水質分析を行うことで、監視地点の水質状況の変化を把握して周辺地域からの異常水質の流入の可能性がないかを監視していく。					
			2 見直して継続									
			重点化									
			手段改善									
			効率化(コストダウン)									
			規模縮小									
			事業統合									
			3 休止・廃止									
4 完了												

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする					施策に関する成果指標																							
○ 施策 13 環境保全・脱炭素・エネルギー					指標名 1人1日あたりのごみ排出量(家庭系ごみ)												備考											
○ 主な取組 ① 環境保全の推進																												
事務事業名			ごみ収集事業		事業に関連するSDGs																							
<事業概要> 家庭から排出される一般廃棄物(ごみ)の収集運搬を行う。 また、3R(発生抑制・再使用・再資源化)を推進するとともに、資源ごみの分別の徹底を図る。			12 資源 循環		事業区分		事務事業コード																					
					新規				担当課名		清掃課																	
					継続		○		会計名		一般会計																	
					ソフト		予算		款項目		4		2		1													
					ハード		○		細目		02-ごみ収集事業																	
市単独			○		(関係法令・市条例・計画等)																							
泉南市廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例																												
令和5年度 事務事業実績																												
主な事業内容 (年次計画)			Plan 1		○市内全域の家庭ごみの収集運搬を行う (保有台数:2tバッカー車10台、3tバッカー車4台、軽四ダンプ7台、2tダンプ1台、公用車1台) ○生ごみ減量等処理機器購入補助金交付制度(10台) ○小学校、幼稚園等への出前授業による環境教育(小学校1校) ○広報(17タイトル)、ウェブサイト(常時)での各種啓発活動 ○「不用品リサイクル回収ボード」での不用品交換制度 ○有価物集団回収報償金交付制度(活動団体数80/回収量457t)																							
(実績)			Do 2																									
事業の財源			決算額		国庫支出金		0千円																					
					府支出金		0千円																					
					市債		0千円																					
					その他		33,179千円																					
			決算書ページ		240ページ		一般財源		99,537千円																			
職員数/人件費			正職員		9.29人		会計年度職員 任期付職員		8.42人		100,946千円																	

令和7年度 実施計画
⇒令和7年第1回定例会予算説明資料として提出予定

令和5年度 事務事業実績																			
主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2				○市内全域の家庭ごみの収集運搬を行う (保有台数:2tバッカー車10台、3tバッカー車4台、軽四ダンブ7台、2tダンブ1台、公用車1台) ○生ごみ減量等処理機器購入補助金交付制度 (10台) ○小学校、幼稚園等への出前授業による環境教育 (小学校1校) ○広報(17タイトル)、ウェブサイト(常時)での各種啓発活動 ○「不用品リサイクル回収ボード」での不用品交換制度 ○有価物集団回収報償金交付制度 (活動団体数80/回収量457t)															
事業の財源				決算額		132,716千円		国庫支出金		0千円									
								府支出金		0千円									
								市債		0千円									
								その他		33,179千円									
				決算書ページ		240ページ		一般財源		99,537千円									
職員数/人件費				正職員		9,29人		会計年度職員 任期付職員		8,42人		100,946千円							

令和7年度 実施計画
⇒令和7年第1回定例会予算説明資料として提出予定

令和5年度 事務事業評価											
事務事業の改善内容	Check 3	<成果・課題> 環境教育・啓発活動を通じて、ごみの発生抑制と分別、適正な排出方法について周知を行っている。特に食品ロス及び海洋プラスチック問題については、小学校等での出前授業にて重点的に取り組んでおり、広報やウェブサイトでも同様に啓発を行っている。 そして、生ごみについても減量対策の一環として、電気式生ごみ処理機器の購入者に対して補助金を交付している。 また、資源の有効活用を推進し、ごみ問題に対する市民の意識向上に資するため有価物集団回収を行う団体に対して報償金を交付している。生ごみ処理機器購入補助金及び有価物集団回収報償金の申請方法については、清掃課での窓口申請だけでなく、他の方法についても検討を行う。 令和5年度の成果指標での目標数値458gに対して実績値は436gと目標が達成できたので、引き続きごみの減量施策の推進に取り組む。	令和6年度の改善の取組	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組					備考	
			<改善内容> ごみ収集日を配信している「ごみの日メール」を市公式LINEに移行することで利便性を高め、ごみの収集日以外のごみに関する情報なども積極的に発信する。 また、生ごみ減量等処理機器購入補助金及び有価物集団回収報償金の申請について、スマート申請システムを利用できないか検討する。	事業の方向性		事業の方向性と取組の内容					
				1 現状維持		これまでの施策を継続し、ごみの減量化に取り組む。					
				2 見直し継続							
				重点化							
手段改善	○										
		効率化(コストダウン)									
		規模縮小									
		事業統合									
		3 休止・廃止									
		4 完了									

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする										事業区分		事務事業コード				施策に関する成果指標																							
○ 施策 13 環境保全・脱炭素・エネルギー										新規				担当課名				産業振興課				指標名 森林整備箇所数														備考			
○ 主な取組 ① 環境保全の推進										継続		○		会計名		一般会計				「泉南市森林整備に係る実施計画」に沿った森林整備(危険木の撤去等)を実施。																			
事務事業名 林業振興事業										事業に関連するSDGs		ソフト		○		予算		款項目																5		2		1	
<事業概要> 市が管理する林道の除草及び修繕等の維持管理を行う。 また、防災上等の理由から早期に整備が必要な森林について、危険木の撤去・倒木の除去等の森林整備を行う。										ハード				細目		01-林業振興事業																							
										市単独				(関係法令・市条例・計画等)																									
										泉南市森林整備に係る実施計画																													

指標値		R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位												箇所	
		目標 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1													
		実績 1													
		達成率 100.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0%													
		達成度 A													

令和5年度 事務事業実績

主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	1 維持管理 ・林道修繕等の実施(2箇所)																			
	2 森林整備 ・「泉南市森林整備に係る実施計画」に沿った森林整備 (危険木の撤去等)の実施(1箇所)																			
	3 各種協会への参画(各会議等参加回数) ・大阪府治山治水協会(1回) ・大阪府林業改良普及協会(0回)																			
事業の財源	決算額		6,846千円		国庫支出金		0千円													
					府支出金		102千円													
					市債		0千円													
					その他		6,127千円													
	決算書ページ	250ページ	一般財源		617千円															
	職員数/人件費	正職員	0.04人	正職員以外の その他職員	0.00人	311千円														

令和 7 年度 実施計画
⇒令和 7 年第 1 回定例会予算説明資料として提出予定

方向性

令和5年度 事務事業評価

		令和6年度の改善の取組	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組		備考
		＜改善内容＞	事業の方向性		事業の方向性と取組の内容	
事務事業の改善内容	＜成果・課題＞ ・「泉南市森林整備に係る実施計画」に沿った計画的な森林整備（危険木の撤去等）を実施することで、市民の安全確保につながった。 ・近年、台風や大雨による突発的な自然災害が急増しているため、林道災害や森林整備箇所が増加が見込まれる。	引き続き、「泉南市森林整備に係る実施計画」に沿った森林整備（危険木の撤去等）を実施するとともに、林道等の巡回を行い、早期補修等を実施することで災害防止に努める。	1 現状維持	○	「泉南市森林整備に係る実施計画」が令和3年度～令和7年度までの5か年計画となっているため、更新の必要性について検討する。	
			2 見直して継続			
			重点化			
			手段改善			
			効率化（コストダウン）			
			規模縮小			
			事業統合			
			3 休止・廃止			
			4 完了			
			Check 3			

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする										事業区分		事務事業コード		施策に関する成果指標																		
○ 施策 13 環境保全・脱炭素・エネルギー										新規		担当課名		総務課		指標名	公用車更新時における電気自動車の導入率												備考			
○ 主な取組 ② 脱炭素社会の実現										継続	○	予算	会計名		一般会計		目標値		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	電気自動車（ハイブリッド車含む）の全体に占める割合。 箱バンタイプの軽自動車等においては、ハイブリッド車の設定がなく当面ガソリン車への更新を行う。		
事務事業名 車両管理事業				事業に関連するSDGs						ソフト			款項目	2	1	8		目標	16	16	17	17	18	18	19	19	20	21	%			
<事業概要> 総務課管理公用車の維持管理をおこなうとともに、更新時には計画的な電気自動車（ハイブリッド車含む）の導入を進める。										ハード	○		細目		03-車両管理事業			実績	15													
										市単独	○				(関係法令・市条例・計画等)			達成率	91.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
														泉南市車両管理規程				達成度	A													

令和5年度 事務事業実績

主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	1 公用車管理事業(自動車61台 原動機付自転車6台) ・法定点検・車検手続事務 ・共済加入事務 ・事故対応事務 ・車両の更新(9台購入)			2 私有自動車登録事務 ・私有自動車共済登録事務			3 安全運転管理事務 ・安全運転管理者事務 ・安全運転講習事務(年1回開催)		
	決算額 25,682千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 160ページ 一般財源 25,682千円			職員数/人件費 正職員 0.30人 正職員以外の その他職員 0.00人 2,333千円					

令和7年度 実施計画
⇒令和7年第1回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価

令和5年度 事務事業評価		令和6年度の改善の取組		Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組		備考
事務事業の改善内容	Check 3	<成果・課題>		<改善内容>		事業の方向性	
		公用車の管理事業においては、法定点検、車検手続事務、共済加入事務、事故対応事務等予定通りの成果であった。 車両の更新については予定していた9台を更新した。 更新のうち8台がハイブリッド車、1台が電気自動車導入率は14.8%となった。 また、その他私有自動車共済登録事務や安全運転管理者事務においても特に問題はなく、安全運転講習事務(年1回開催)も予定通り開催した。 課題としては、10万km未満や15年未満の車両においても頻繁に故障が発生するものがあり、職員の安全などを考慮し、更新時期を判断する必要がある。		職員の安全面や二酸化炭素削減を推進するため、走行距離が10万km未満や経過年数が15年未満の車両についても更新対象としていく計画を見直し、さらなる電気自動車(ハイブリッド車含む)の導入をする。		事業の方向性と取組の内容	
						今後職員的安全面等を考慮し、環境負荷に配慮しながら電気自動車(ハイブリッド車含む)の導入を推進していく。	
				1 現状維持		○	
				2 見直して継続			
				重点化			
				手段改善			
				効率化(コストダウン)			
				規模縮小			
				事業統合			
				3 休止・廃止			
				4 完了			

第6次泉南市総合計画 施策の概要

分野別政策	3	『くらし』を守る・快適にする										施策に関連するSDGs					主な取組	①道路環境の整備
施策	14	道路・交通										 						◇拠点となる市役所や駅周辺において、安全で快適な徒歩・自転車・自動車の移動環境の確保を図ります。 ◇拠点間及び地域間をアクセスしやすい道路ネットワークの形成に取り組みます。 ◇ICTやAI等の新技術を活用し、メリハリの効いた道路メンテナンスを実施します。
目指す まちの姿	主要拠点にアクセスしやすい交通網が整備され、誰もが快適・安全に移動しやすいまち															②多様な交通手段の利用・導入促進		
	様々な拠点に行きやすく、市民生活に身近な道路の計画的な整備や、地域の特性に合った公共交通の維持・発展により、誰もが快適・安全に移動できるまちづくりに取り組みます。															◇コミュニティバスについて、利用者の意見を踏まえ、路線の見直しを行うとともに、乗車割引制度の拡充を検討します。 ◇小型バス等を活用したデマンド型交通やカーシェアリングサービス等、多様な交通手段の導入を検討します。 ◇拠点間を連携する交通手段の一つとして、自転車ネットワークの形成を図ります。		
施策に関する 成果指標	指標項目					基準値(R3)					目標値(R14)			備考		③広域ネットワークの構築		
	コミュニティバス利用者数					133千人					158千人					◇近隣府県及び市町村と連携、協力し、関西国際空港を中心とした広域アクセス網の早期整備を求める要望活動を促進します。 ◇リスクマネジメントの観点から関西国際空港への代替アクセスとなる南ルートの早期実現を訴え、実現要望及び広報活動を積極的に展開します。 ◇紀北地域や広域拠点地域との連携を強化する広域幹線道路の整備を促進します。		
	進捗状況																	
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	備考							
	目標	154	156	156	156	158	158	158	158	158	158	令和4年度には、大幅な運行経路の見直しやバス停の追加、名称変更などが行われ、これにより利用者の利便性が大幅に向上しました。これらの変更により、利用者の間で浸透しており、その効果が広く認識されています。						
	実績	169																
	達成率	109.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%							
達成度	A																	
掲載事業一覧【所幹部】																所管部局評価		
3-14-① 道路維持管理事業【都市整備部】																【都市整備部】		
3-14-① 道路新設改良事業【都市整備部】																取組①		
3-14-① 砂川樫井線新設事業【都市整備部】																バリアフリー化促進のため、市役所周辺において、歩道の改良工事を実施する。 道路ネットワークの形成に資する、砂川樫井線の整備事業を推進する。 道路メンテナンスにおける新技術の活用については、費用対効果等の検証を行い、積極的に採用を検討する。		
3-14-① 信達樺井線改良事業【都市整備部】																【市民生活環境部】		
3-14-② コミュニティバス運行事業【市民生活環境部】																取組②		
																令和4年4月にさわやかバスの大幅な運行経路の見直しを行い、利便性が向上した。 令和5年度には、コミュニティバスの運営以来最多(169,251人)の利用者数となった。 また、令和5年度に実証実験した「チョイソコせんなん」の実績・結果報告をベースに予約制乗合タクシーが担うべき機能と、コミュニティバスが担ってきた役割等を整理しながら、将来的な市内の公共交通のあり方に関する検討が必要である。		

第6次泉南市総合計画 実施計画

分野別政策 ③ 『くらし』を守る・快適にする				事業区分		事務事業コード		施策に関する成果指標																					
○ 施策 14 道路・交通				新規		担当課名		道路課		指標名		舗装補修面積												備考					
○ 主な取組 ① 道路環境の整備				継続		○		会計名		一般会計				R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位					
事務事業名		道路維持管理事業				事業に関連するSDGs		ソフト		予算		款項目		7	2	3													
<事業概要> 歩行者や車両が安全に通行できるように、市が管理する道路の修繕工事を行います。 				ハード		○		細目		01-道路維持管理事業		目標値		実績	4,899														
				市単独				(関係法令・市条例・計画等)		達成率		122.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
										達成度		A																	
令和5年度 事務事業実績																													
主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2				1 道路修繕工事 ・舗装修繕工事 A=4,899㎡(面積) ・道路維持工事 一式 (ネットフェンス設置等)		2 橋梁補修工事 ・新家8号橋 (塗装塗替え、ひび割れ補修、舗装打ち換え)																							
事業の財源				決算額		国庫支出金		32,273千円																					
						府支出金		0千円																					
						市債		30,600千円																					
						その他		0千円																					
				決算書ページ		261ページ <th colspan="2">一般財源</th> <td colspan="2">41,940千円</td> <th colspan="16"></th>		一般財源		41,940千円																			
職員数/人件費				正職員		1.82人		正職員以外の その他職員		0.00人		14,154千円																	

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価									
事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 地域からの道路における修繕要望あるいは道路舗装個別施設計画に基づき修繕工事を実施しているが、インフラ施設の物理的な老朽化や技術職員の減少という両方の側面に課題を有しており、今後、持続的、効率的なメンテナンス手法の導入が必要となる。	令和6年度の改善の取組	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組					備考
		＜改善内容＞ ・道路舗装個別施設計画と地域からの要望を照らし合わせ、より効果的な優先順位を整理する。 ・橋梁メンテナンスにおいて、新技術や実効性の高い手法の導入を図るため、橋梁長寿命化修繕計画を改定する。	事業の方向性		事業の方向性と取組の内容				
			1 現状維持		ライフラインとして欠かせないインフラの持続的な安全性・信頼性の確保するため、官民連携等による新たなメンテナンス手法の導入を検討し、実践につなげるため、事業コストの増加が見込まれる。				
			2 見直して継続						
			重点化	○					
			手段改善						
			効率化(コストダウン)						
			規模縮小						
			事業統合						
			3 休止・廃止						
4 完了									

第6次泉南市総合計画 実施計画

[illegible]

令和5年度 事務事業実績

主な事業内容 (年次計画)	Plan 1			
	(実績)			
事業の財源	決算額		国庫支出金	14,471千円
	40,056千円		府支出金	0千円
職員数/人件費	正職員	0.40人	正職員以外の その他職員	0.00人
	263ページ		一般財源	3,385千円

方向性

令和5年度 事務事業評価

事務事業の改善内容	＜成果・課題＞ 成果 当初の計画どおり実施することができた。 課題 今後実施すべき事業が相当数あるが、交付金の割り当てに限界があることや、人件費や資材高騰により事業費が増大し、事業推進の妨げとなっており、工夫が必要である。	令和6年度の改善の取組	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組		備考
		＜改善内容＞ 整備効果の高い箇所の選定を行い、新工法を活用するなど常にコスト縮減を意識した事業監理に努める。	事業の方向性		事業の方向性と取組の内容 生活道路の整備については、市民生活の安全と安心に直結しており、引き続き市民のニーズに応えるべく、事業を推進する。	
			1 現状維持			
Check 3			2 見直して継続	重点化		
				手段改善	○	
				効率化(コストダウン)		
				規模縮小		
				事業統合		
			3 休止・廃止			
			4 完了			

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする				事業区分		事務事業コード			施策に関する成果指標																									
○ 施策 14 道路・交通				新規				担当課名			道路課			指標名 整備率(%)									備考											
○ 主な取組 ① 道路環境の整備				継続		○		予算		会計名		一般会計			目標準値																			
事務事業名 砂川樫井線新設事業		事業に関連するSDGs		ソフト		款項目				7 4 6																								
				ハード		○				01-砂川樫井線新設事業																								
＜事業概要＞ 和泉砂川駅から樽井大苗代新家線を結ぶ幹線道路を整備することで、利用者の利便性を向上させるとともに、円滑な交通を促します。				市単独				(関係法令・市条例・計画等)																										
				都市計画法																														
																	目標値			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位				
																	目標		42	66	82	100										%		
																	実績		56															
																	達成率		133.3%	0.0%	0.0%	0.0%												
																	達成度		A															

令和5年度 事務事業実績

主な事業内容 (年次計画)	Plan 1				令和 7 年度 実施計画 ⇒令和 7 年第 1 回定例会予算説明資料として提出予定
	Do 2				
事業の財源	決算額 207,659千円		国庫支出金	113,720千円	
			府支出金	49,821千円	
			市債	38,800千円	
			その他	0千円	
	決算書ページ	272ページ	一般財源	5,318千円	
職員数/人件費	正職員 0.50人	正職員以外の その他職員 0.00人	3,889千円		

方向性

令和5年度 事務事業評価

事務事業の改善内容	＜成果・課題＞ 課題 国庫補助金の確保に努める必要がある。 土地収用法に基づく裁決申請に向けての準備が急務である。	令和6年度の改善の取組	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組		備考	
		＜改善内容＞	国庫補助金を確保するため、本省（国土交通省等）要望活動に努める。	事業の方向性			事業の方向性と取組の内容
				1 現状維持	○		
				2 見直して継続			
				重点化			
Check 3				手段改善			
				効率化（コストダウン）			
				規模縮小			
				事業統合			
				3 休止・廃止			
				4 完了			

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする			事業区分			施策に関する成果指標																																
○ 施策 14 道路・交通			新規		事務事業コード		指標名 整備率(%)														備考																	
○ 主な取組 ① 道路環境の整備			継続		○																																	
事務事業名 信達樽井線改良事業		事業に関連するSDGs	ソフト		予算																																	
<事業概要> 内陸部とりんくうタウンを結ぶ幹線道路を整備(道路拡幅、歩道のバリアフリー化)することで、利用者の利便性を向上させるとともに、円滑な交通を促します。			ハード		○		会計名	一般会計																														
							款項目	7	4	6																												
			市単独				細目	02-信達樽井線改良事業																														
							(関係法令・市条例・計画等)																															
都市計画法																	目標値																					
																	指標名	整備率(%)										備考										
																		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位										
																	目標	95	95	95	96	96	96	97	97	97	98	%										
																	実績	95																				
																	達成率	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%										
																	達成度	A																				

令和5年度 事務事業実績																				
主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2			1. 法定事務事業 ・都市計画法に基づく事業認可の変更手続き																	
事業の財源			決算額		196千円		国庫支出金		0千円											
							府支出金		0千円											
							市債		0千円											
							その他		0千円											
			決算書ページ	272ページ	一般財源		196千円													
職員数/人件費			正職員	0.05人	正職員以外の その他職員	0.00人	389千円													

評価

方向性

令和7年度 実施計画

⇒令和7年第1回定例会予算説明資料として提出予定

令和5年度 事務事業評価									
事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 成果 事業認可(8年間の期間延長)を取得した。 課題 他事業の事業費が増大しており、すぐに着手できない状況である。	令和6年度の改善の取組	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組					備考
		＜改善内容＞ 用地測量を行い、迅速な用地買収に備える。	事業の方向性		事業の方向性と取組の内容				
			1 現状維持	☐	本路線は市の幹線道路であるが、歩道が狭くまた高低差もあることから、特に車いすが通行しづらく、バリアフリーの観点から、引き続き着実に事業を実施していく必要がある。今後、多額の費用を要する砂川樫井線の事業完了にあわせて、本事業にシフトしていく。				
			2 見直して継続						
			重点化	☐					
			手段改善	☐					
			効率化(コストダウン)	☐					
			規模縮小	☐					
			事業統合	☐					
		3 休止・廃止	☐						
4 完了	☐								

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする			事業区分			施策に関する成果指標															
○ 施策 14 道路・交通			新規			指標名 泉南市コミュニティバス運行に関する利用者数														備考	
○ 主な取組 ② 多様な交通手段の利用・導入促進			継続																		
事務事業名 コミュニティバス運行事業		事業に関するSDGs		ソフト		予算		会計名		一般会計											
＜事業概要＞ 市内公共施設を中心に市民の生活交通や交通弱者に対する交通手段の確保を図る。				ハード		細目		7		2											
				市単独		03-コミュニティバス 運行事業															
						(関係法令・市条例・計画等)															
						泉南市コミュニティバス運行に関する協定書等															
令和5年度 事務事業実績																					
主な事業内容 (年次計画)		バス会社との5年間協定を基に、令和4年度より、大幅な運行経路の見直しやバス停の追加、名称変更、主要駅での上屋、植樹の設置を行い、また新規バスを導入した。																			
(実績)		令和元年度(感染症前) :153(千人) 令和2年度(感染症初期) :123(千人) 令和3年度(感染症中期) :133(千人) 令和4年度(感染症後期) :154(千人) 令和5年度(感染症収束宣言) :169(千人)																			
事業の財源		決算額		国庫支出金		0千円															
		43,363千円		府支出金		0千円															
				市債		0千円															
				その他		0千円															
		決算書ページ		260ページ		一般財源		43,363千円													
職員数/人件費		正職員		1,00人		会計年度職員 任期付職員		0,00人		7,777千円											

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価										
事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ ・令和5年度の取組により利用者の利便性が大幅に向上し、令和5年度では、利用者の間で浸透し、その効果が広く認識された。 感染症の収束も相まって、毎年の人口が約1.3%減少する中、令和5年度では乗車人数が当初の目標を大きく上回り、市民の利便性が向上した。 ・今後も市民の声を取り入れ、交通の利便性向上に貢献する施策を継続して実施する。 ・交通インフラのさらなる改善と、地域社会の発展に寄与するための取組を展開する必要がある。	令和6年度の改善の取組	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組					備考	
		＜改善内容＞ ・運賃割引の周知強化 ウェブサイトやSNSを活用して、高齢者や障害者、免許返納者向けの運賃割引制度を広く周知する。また、チラシなどの物理的な広報も積極的に配布する。 ・スマート申請システムの導入 ウェブサイトを通じて、誰でも簡単に申請できる運賃割引申請のスマート申請を導入する。	事業の方向性		事業の方向性と取組の内容					
			1 現状維持	○	令和9年度の変更協議に向けて、市民の利便性を向上させるために以下の方角性を検討する。	・運行経路の見直し 市民の移動ニーズや地域の変化に合わせて、バスの運行経路を見直す。特に、住宅地や商業地域、公共施設へのアクセスを考慮し、最適な経路を検討する。 ・公共交通手段との併合 バス路線と鉄道など他の公共交通手段との接続性を向上させる。乗り換え時の待ち時間を最小限に抑え、スムーズな移動を実現する。 ・交通ネットワークの構築 シェアリングサービス、徒歩など、バス以外の交通手段との連携を強化する。				
			2 見直して継続							
			重点化							
			手段改善							
			効率化(コストダウン)							
			規模縮小							
			事業統合							
		3 休止・廃止								
4 完了										

第6次泉南市総合計画 施策の概要

分野別政策	3	『くらし』を守る・快適にする										施策に関連するSDGs										主な取組	①下水道の整備	
施策	15	下水道・生活環境・住まい										    											◇下水道施設の計画的な維持管理と更新を行うとともに、効率的な下水道事業を進めます。 ◇下水道使用料の定期的な見直しや下水道普及率の向上を図り、安定的な運営を行います。 ※水道事業については、平成31年4月から大阪府広域水道企業団に統合されました。	
目指すまちの姿	地域特性をいかした土地利用が促進され、自然環境とも調和した魅力的なまちなみを有し、多様なニーズに対応した快適で住みやすいまち																							
	下水道等、生活基盤の強化や維持管理を計画的・効率的に進めるとともに、計画的な土地利用により、自然環境と調和しつつ、利便性が高く魅力あるまちづくりに取り組みます。																							
施策に関する成果指標	指標項目										基準値(R3)					目標値(R14)					備考			
	拠点徒歩圏の新築件数の割合										60%					80%					拠点徒歩圏建築確認数/全建築確認数			
	進捗状況																							
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	備考													
	目標	62	64	66	68	70	72	74	76	78	80													
	実績	62																						
	達成率	100%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%													
達成度	A																							
掲載事業一覧【所幹部】																							所管部局評価	
3-15-① 公共下水道整備事業【都市整備部】																							【都市整備部】 取組① ストックマネジメント計画に基づいた管渠の点検調査、大里川ポンプ場の再構築基本設計(耐震実施計画)及び基本構想の策定を行った。今後も下水道施設の老朽化対策を計画的に行っていく。 普及率については、前年度比0.2ポイントの伸びとなり、引き続き計画的・継続的な面整備を実施する。 取組② 昨年度から継続して「都市計画マスタープラン」の改定に取り組み、本年度は、策定委員会(学識・公募市民等)を開催し、市の将来を見据えた都市の在り方、特に土地利用の方針等を議論し、令和6年度に完成させる。 また、パークマネジメント(公園管理運営)計画の策定に着手し、公園の利活用や管理及び再編・集約について検討し、令和6年度の早い時期に完成させ、今後の取組について掘り下げていく。 さらには、馬場、幡代及び岡中地区の市街化調整区域において、民間事業者からの提案された3件の地区計画の熟度を深め、1件は都市計画の決定が完了し、残り2件についても、継続して関係機関と協議を進め、令和6年度中に都市計画決定を行う。 加えて、泉南中央公園用地活用事業については、令和6年度から学校水泳授業が行える目途が立った。 取組③ 市営住宅長寿命化計画に基づき、各住棟を長期的に活用することを念頭に改修工事を行うとともに、前畑住宅建替基本・実施設計に着手した。今後も計画的な改修工事や、早期に建替えを完了することで、良質な市営住宅ストックを形成する。 また、周辺住民の生活環境に影響のある空き家の所有者への適切な維持管理を実施するための通知や、関係団体と連携した空き家相談会を実施した。引き続き、空き家の管理意識の向上や利活用の促進につながる取組を進める必要がある。	
3-15-② 公園緑地等維持管理事業【都市整備部】																								
3-15-③ 市営住宅改修事業【都市整備部】																								
3-15-③ 市営住宅建替事業【都市整備部】																								
3-15-③ 空家等対策事業【都市整備部】																								

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする				事業区分		事務事業コード		施策に関する成果指標																								
○ 施策 15 下水道・生活環境・住まい				新規		担当課名		下水道課		指標名		公共下水道普及率【下水道供用開始工事済区域内人口(人)／行政人口(人)】											備考									
○ 主な取組 ① 下水道の整備				継続		○		会計名		下水道事業会計		目標値													計画的・継続的な管渠整備の実施による							
事務事業名 公共下水道整備事業		事業に関連するSDGs		ソフト		予算		款項目		4				1		1		R5		R6	R7	R8	R9	R10			R11	R12	R13	R14	単位	
				ハード				○		細目																						
				市単独						(関係法令・市条例・計画等)																						
				下水道法																												
<事業概要> 公共下水道の整備により、生活環境の改善、海や河川における水質汚濁防止に努める。														目標		62.4	62.6	63.2	63.3	63.5	64.0	64.5	64.9	65.4	65.9	%						
														実績		62.8																
														達成率		100.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%						
														達成度		A																

令和5年度 事務事業実績

主な事業内容 (年次計画)	1 公共下水道整備事業 ・下水道汚水管渠の布設 整備延長:250.20m(信達牧野地区) 183.74m(岡田地区) ・汚水樹の設置数 21基(信達牧野地区) 15基(岡田地区)																
	Plan 1																
	Do 2																
事業の財源	決算額		203,445千円		国庫支出金	49,500千円											
					府支出金	0千円											
					市債	81,800千円											
					その他	37,737千円											
	決算書ページ		一般財源	34,408千円													
職員数/人件費	正職員	1.75人	会計年度職員 任期付職員	0.00人	13,610千円												

令和7年度 実施計画
⇒令和7年第1回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価						
事務事業の改善内容		<成果・課題>		令和6年度の改善の取組	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組
				<改善内容>		事業の方向性
						事業の方向性と取組の内容
						1 現状維持
						2 見直して継続
						重点化
						手段改善
						効率化(コストダウン)
						規模縮小
						事業統合
						3 休止・廃止
						4 完了

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする		事業区分		事務事業コード			施策に関する成果指標																										
○ 施策 15 下水道・生活環境・住まい		新規		担当課名			住宅公園課			指標名		長寿化対策公園数										備考											
○ 主な取組 ② 都市再生の推進		継続		○		会計名		一般会計			目標値																						
事務事業名 公園緑地等維持管理事業		事業に関連するSDGs		ソフト		予算		款項目		7			4		4																		
										ハード			02-公園緑地等維持管理事業		実績		31																
															達成率		114.8%		0.0%		0.0%				0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		
															達成度		A																
<事業概要> 利用者が安全・安心・快適に利用できるよう公園緑地の整備・維持管理を行うとともに、地域住民の自主的な公園ボランティア活動を支援します。		  		市単独		(関係法令・市条例・計画等)			都市公園法、泉南市都市公園条例、泉南市公園施設長寿化計画																								

[illegible]

令和5年度 事務事業実績									
主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	1 改修事業 ・前畑住宅5、6、7号棟給水管改修工事 ・各市営住宅水道メーター改修工事 ・前畑住宅A号棟エレベーター改修工事								
事業の財源	決算額		44,952千円		国庫支出金	17,591千円			
					府支出金	0千円			
					市債	17,500千円			
					その他	0千円			
	決算書ページ	275ページ	一般財源	9,861千円					
	職員数/人件費	正職員	0.98人	正職員以外の その他職員	0.08人	7,882千円			

令和7年度 実施計画									

方向性

令和5年度 事務事業評価									
事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 長寿化計画に基づき、令和5年度に計画していた改修工事を実施した。 改修工事は、入居者が居住しながら実施することになるため、日常生活における影響を最小限に抑えるよう、引き続き入居者に配慮した工事を実施する必要がある。	令和6年度の改善の取組	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組				備考	
		＜改善内容＞ 令和7年度の改修工事着手に必要なとなる設計業務等を計画しているが、円滑に工事を実施するため事前の調査を慎重に行う。	事業の方向性		事業の方向性と取組の内容				
			1 現状維持	○	安全・安心な居住環境を保するため、施設の長寿化に資する改修事業を計画的に実施する。				
			2 見直して継続						
			重点化						
			手段改善						
			効率化(コストダウン)						
					規模縮小				
					事業統合				
			3 休止・廃止						
4 完了									

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする				施策に関する成果指標																			
○ 施策 15 下水道・生活環境・住まい																							
○ 主な取組 ③ 住まいの提供																							
事務事業名 市営住宅建替事業		事業に関連するSDGs																					
<事業概要> 未耐震棟入居者の住替えを推進するとともに、長寿命化計画に基づき未耐震棟の建替えを実施します。		1 安全 3 健康と福祉 11 住み続けられるまちづくり 17 パートナーシップ		事業区分	事務事業コード		指標名 当該年度事業実施率										備考						
				新規		担当課名																	
				継続	○		会計名																
				ソフト		予算	款項目	7	5	1													
				ハード	○		細目	04-市営住宅建替事業															
				市単独		(関係法令・市条例・計画等)																	
公営住宅法、市営住宅整備基準条例、泉南市営住宅長寿命化計画																							
令和5年度 事務事業実績																							
主な事業内容 (年次計画)		1 前畑住宅2、3、8、10号棟の建替え ・建替基本・実施設計 ・建替用地測量 ・府営前畑住宅への仮移転戸数：10戸 2 住替え移転 ・前畑住宅内または宮本住宅内での住替え戸数：14戸																					
(実績)		Plan 1		令和7年度 実施計画 ⇒令和7年第1回定例会予算説明資料として提出予定																			
(実績)		Do 2																					
事業の財源		決算額		国庫支出金		5,232千円																	
				府支出金		0千円																	
				市債		3,400千円																	
				その他		0千円																	
		決算書ページ		275ページ		一般財源		8,269千円															
職員数/人件費		正職員		0.90人		正職員以外の その他職員		0.24人		7,780千円													

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価									
事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 成果 令和7年度から建替工事に着手するため、設計業務や測量業務を実施した。 未耐震住棟入居者の仮移転及び住替え移転の推進により、住まいの安全確保を図った。 課題 建替基本・実施設計は、引き続き住宅整備基準や入居予定者に配慮した住戸配置、間取り、設備を検討する。 残る未耐震住棟入居者の全戸移転を早期に完了し、住まいの安全確保を図る必要がある。	令和6年度の改善の取組	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組					備考
		＜改善内容＞ 設計業務は、省エネルギー化による環境面の配慮など、引き続き様々な検討を行い内容を決定する。 移転先となる住宅の修繕を早期に行い、未耐震住棟入居者の移転を完了する。	事業の方向性		事業の方向性と取組の内容				
			1 現状維持	○	仮移転先の府営前畑住宅の使用許可が令和9年度内となるため、現在計画している令和7年度工事着手から令和9年度上半期中に工事を完了させ、仮移転入居者の居住環境を整えていく。				
			2 見直して継続						
			重点化						
			手段改善						
			効率化(コストダウン)						
			規模縮小						
			事業統合						
			3 休止・廃止						
4 完了									

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする			事業区分		事務事業コード			施策に関する成果指標																				
○ 施策 15 下水道・生活環境・住まい			新規		担当課名 住宅公園課			指標名		空家等除却工事補助金交付件数											備考							
○ 主な取組 ③ 住まいの提供			継続		○		会計名 一般会計		目 標 値				R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位					
事務事業名 空家等対策事業		事業に関連するSDGs		ソフト		○		予算			会計目 7 5 2		目標		3	3	3	3	3	3	3	3	3			件		
				ハード		○		細目 01-空家対策事業			実績		2															
				市単独				(関係法令・市条例・計画等)			達成率		66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
								空家等対策の推進に関する特別措置法、泉南市空家等対策計画			達成度		B															
<事業概要> 市内の空き家等が年々増加する中、泉南市空家等対策計画に基づき、空家対策の総合的な取組を推進します。 																												

令和5年度 事務事業実績									
主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	1 空家等対策計画の推進 ・適正な管理の促進 （管理不全な空き家の所有者への通知 67件） ・利活用に関する啓発 （固定資産税納税通知に啓発チラシ同封） ・所有者等に対する助言及び指導 ・危険な空き家発生の未然防止 （老朽空家除却減免 2件） ・空家等除却工事補助金の交付 （老朽危険空家等除却工事補助金 2件）								
事業の財源	決算額		国庫支出金		500千円				
			府支出金		0千円				
			市債		0千円				
			その他		0千円				
	決算書ページ	276ページ	一般財源		710千円				
職員数/人件費	正職員	0.45人	正職員以外の その他職員	0.48人	5,061千円				

令和 7 年度 実施計画									
⇒令和 7 年第 1 回定例会予算説明資料として提出予定									

令和7年度 実施計画

⇒令和7年第1回定例会予算説明資料として提出予定

令和5年度 事務事業評価									
事務事業の改善内容 Check 3	＜成果・課題＞ 【成果】 ・老朽空家を除却した土地の固定資産税等の減免制度や老朽危険空家等の除却費用の一部補助制度を新設し、空き家所有者等に対して、補助制度の充実を図った。 【課題】 相続放棄や所在不明等による所有者の対応が期待できない空き家への対応が必要である。	令和6年度の改善の取組	Action 4	令和7年度以降の事業の方向性と取組					備考
		＜改善内容＞ 相続財産清算人・不在者財産管理人の選任や略式代執行を実施する。	事業の方向性						
			1 現状維持		○				
			2 見直して継続						
			重点化						
			手段改善						
			効率化(コストダウン)						
			規模縮小						
			事業統合						
			3 休止・廃止						
4 完了									